科目ナンバリング	U-LAS15 10001 LJ58				
授業科目名<英訳>	基礎地球科学A（現在の地球の活動と私たち） Introduction to Earth Science A [Topics of the Solid Earth and Humans]		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　加藤　護	
群	自然科学科目群	分野(分類)	地球科学(基礎)	使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金1	配当学年	主として1・2回生	対象学生	理系向

[授業の概要・目的]

地球で起きているさまざまな自然現象を科学の知識を用いて理解する基礎を学ぶ。そしてその現象が起きている地球という星の環境の変化を整理する。人類の周辺で起きる現象が地球という星の絶え間ない変動の一端であることを意識し、さまざまな時間的空間的視点を意識することを目指す。固体圏の現象に重点を置く。

[到達目標]

身の回りで起きている現象の地球科学的な側面を理解する力をつける。特に災害に関わる情報を理解するための考え方を身につける。

[授業計画と内容]

以下のテーマについて、フィードバックを含め全15回で、それぞれ1-3回の予定で授業を行う。
・イントロダクション：身のまわりにある地球科学
・地球の形と中身
・地球内部の変動
・地震・津波・活断層
・地球表層で起きるその他の現象
・惑星としての地球
・人間と社会と地球
学期内に発生した自然現象や履修者のフィードバックを反映させて内容を修正することがある。また順序は前後することがある。

[履修要件]

高校地学をベースとした内容。高校の地学、物理、化学の履修を前提としない。授業中必要になる知識については、自学自習を求める。

[成績評価の方法・観点]

学期内数回の小レポートと期末のレポートにより評価する。詳細は初回授業で伝える。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

基礎地球科学A（現在の地球の活動と私たち）(2)へ続く↓↓↓

基礎地球科学A （現在の地球の活動と私たち）(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

地球科学の基礎知識を前提としないが、必要に応じて予習復習することが求められる。期末までにアカデミック・ライティングの技法を習得していること。詳細は初回授業で伝える。

[その他（オフィスアワー等）]

基礎地球科学Aは同一時間帯にそれぞれ2クラス開講する。担当教員ごとに内容と構成が異なるので、シラバスを読んで選択すること。後期に基礎地球科学Bを履修する予定であれば後期のシラバスも確認すること。2クラスとも前後期同一教員のクラスを履修していることを想定して授業が構成されている。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部、理学部